

科目名	靴修理			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
靴の構造の理解・接着法習得。靴修理を行なうには、靴の構造への理解が不可欠である。また、靴の修理を行なうには、材料の種類に適した接着剤・接着法の選択が不可欠である。靴の修理方法を学び、技術を身につけることで、実際の靴の製作に入る前に、靴の構造への理解と製作の基本を学ぶことを目的とする。							
〔授業全体の内容の概要〕							
学生それぞれが持ち込みの靴3足について、修理が必要な箇所を修理する。まず講師が修理の必要性等について講義をし、基本の修理のデモンストレーションをした後、学生はそれぞれの修理課題を完成に向けて製作していく。学生が持ち込んだ修理の内容によって講師は適宜デモンストレーションを行う。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。また、完成した修理について、期限内に修理内容・修理方法等をレポートにまとめさせ、提出させる。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①期限内に3足の靴修理を完成させる。 ②基本的な靴修理ができるようになる。 ③グラインダーで材料を決まった形に切削する、接着するといった製作の基本工程ができるようになる。 ④自分の行った製作について、内容・工程を他者が参考にできるように工夫してレポートにまとめることができる。							
回数	講義内容						
1	靴修理ガイダンス・講義／ヒール修理のデモンストレーション						
2	各人の靴修理						
3	各人の靴修理						
4	各人の靴修理						
5	各人の靴修理						
6	ヒール修理のデモンストレーション2／各人の靴修理						
7	各人の靴修理						
8	各人の靴修理						
9	各人の靴修理						
10	各人の靴修理						
11	前足部修理のデモンストレーション／各人の靴修理						
12	各人の靴修理						
13	各人の靴修理						
14	各人の靴修理						
15	各人の靴修理						
16	カウンターライニング修理のデモンストレーション／各人の靴修理						
17	各人の靴修理						
18	各人の靴修理						
19	各人の靴修理						
20	その他の修理・靴調整のデモンストレーション／各人の靴修理						
21	各人の靴修理・靴調整						
22	各人の靴修理・靴調整						
23	各人の靴修理・靴調整						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
配布資料							
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
実習中の靴修理の課題+レポートの合計点数で評価							